第一号議案　令和７年度改選役員、推薦委員の選任

◆令和７年度改選役員選挙公報

※年齢は令和７年６月２１日時点

会長候補:　濱田　正美　［看護師］　(63歳)　所属：福岡県看護協会	−推薦委員会推薦−
日本看護協会及び本会の活動歴:【日本看護協会】役員・委員歴1年:日本看護学会論文査読委員 【福岡県看護協会】役員・委員歴2年:常任理事、認定看護管理者教育運営委員	
抱負:　このたび福岡県看護協会長に推薦いただくことになりました。私は、看護師として臨床現場で40年間勤務した後、昨年令和6年度の福岡県看護協会通常総会において常任理事に就任し、微力ながら協会の組織運営に携わってまいりました。この一年、常任理事の役割を通じて、会員・非会員を問わず県内の看護職の方々が、臨床現場・教育機関・行政・地域等において、その専門性を発揮し看護に取り組んでおられることを身近に知るとともに、改めて看護職が社会から求められるやりがいのある素晴らしい職であることを実感しています。 今年2025年は、団塊の世代と呼ばれる人々のすべてが後期高齢者となり、今後ますます少子高齢社会へと加速していきます。医療的ケアを必要とする高齢者が増え、ケアの中心は病院ではなく、在宅医療へと着実にシフトしていくなかで、地域医療を支える看護職の役割や活動は多岐にわたって求められていくと考えます。そのためにも、看護の質向上と多職種との連携・協働に努めることが重要です。こうした状況のなか、次の節目となる2040年に向けての大きな課題が、看護職の確保と定着です。この課題に対する看護協会の役割は、中学生・高校生を対象とする学齢期から看護の魅力を発信し普及啓発に努めるとともに、看護師養成期を経て、新人・新任期、中堅期、ベテラン・管理期、さらにはプラチナナースの方々が働き続けられるための施策を提言し、それに伴う事業を進めることです。 全世代型地域包括ケアシステムが推進されるなか、人々が健康に、又は病を持ちながらも住み慣れた地域で、自分らしく生きようとする力を引き出すのが看護の力であり、求められるものであります。看護職が、看護を魅力あるものと感じ、誇りを持ちながら働き続けられるために、職能団体として看護職への支援と地域貢献・社会貢献につながる活動に取り組んでまいります。	

副会長候補:　野口　ゆかり　［助産師］　(59歳)　所属：第一薬科大学	−推薦委員会推薦−
日本看護協会及び本会の活動歴:【福岡県看護協会】役員・委員歴5年: 学会委員、推薦委員	
抱負:　このたび、福岡県看護協会副会長に推薦いただくことになりました。 私は、助産師として8年間の臨床経験ののち、教育現場では、母性・助産領域を主に4半世紀以上、教員として携わってきました。 2025年の干支「乙巳(きのとみ)」は「新しい挑戦や変化に対して前向きな姿勢、どんな困難に直面してもやり遂げようとする強い精神力を示すことで幸運に導かれる年」とのこと。個人的には還暦を迎えます。人生の半分以上にわたり看護・助産という素晴らしい業に関わり続けられたこと、さらには、今回、新たな役割の機会をお示しいただいたことにも深謝せずにはいられません。 2025年、看護教育現場は、看護学教育モデル・コア・カリキュラム改訂の年となります。時代・社会情勢・医療を取り巻く環境など多様で予測不可能な状況や変化にも適応できるより質や能力の高い看護人材養成を目指し、従来の教育内容基盤型から、コンピテンシー(資質・能力)基盤型への改訂で、11領域:①対象を総合的・全人的に捉える能力②プロフェッショナリズム③生涯学習能力④地域社会における健康支援⑤ケアの質と安全の管理⑥多職種連携能力⑦科学的探究力⑧患者ケアのための臨床スキル⑨コミュニケーション能力⑩情報・科学技術を活かす能力⑪専門知識に基づいた問題解決能力が示されています。 社会からの要望をもとに構成されたこれらの項目は、これから看護職を目指す人材の卒業時の目標というだけでなく、すでにご活躍されている経験豊かな看護職の皆様にも幅広く多様な場・状況において求められる項目でもあり、新たな能力拡大のために、看護協会事業の果たすべき役割は今後さらに重要になると思います。 会長を補佐し、会員の皆様のさらなる発展の一つ一つに対して丁寧に、前向きに、柔軟に、全体の調和も大切に、微力ながら尽力させていただけたらと存じます。	

常任理事*:　赤星　誠美　［看護師］　(60歳)　所属：個人会員(2地区支部)	−理事会推薦−
日本看護協会及び本会の活動歴:【福岡県看護協会】役員・委員歴2年: 地区支部長	
抱負:　このたび、常任理事として推薦していただくことになりました。今まで、看護管理に19年、看護教育に11年携わってきました。常任理事として、これまでの経験を活かし、看護職が活き活きと働き続けられるよう勤務環境・処遇の改善・看護の質向上に向けた生涯教育・キャリア支援等に取り組んでいきたいと考えております。会長を補佐し、職能団体としての使命を果たしていけるよう尽力したいと思います。	

職能理事: 石井 靖子 ［保健師］ （65歳） 所属:福岡県北筑後保健福祉環境事務所	-推薦委員会推薦-
日本看護協会及び本会の活動歴:【福岡県看護協会】役員・委員歴20年:保健師職能理事、地区支部書記、看護師職能Ⅱ委員、たばこ問題対策委員、看護制度委員、准看護師諸問題対策委員、福岡県支部業務委員、選挙管理委員、教育研修体系再構築プロジェクト	
抱負: 保健師職能委員長として、多くの皆様方のご支援のもと、2期務めさせて頂きました。 4年間の活動の中で、2040年を見据え、社会の情勢と保健師に求められる役割を十分認識し、生き生きと働き続けられるための人材育成や人材確保が重要であることを痛感しています。保健師の活動の場はさまざまです。現場の声を大切にし、三職能と連携しながら、さらなる保健師の資質向上に努めて参ります。	

職能理事*: 下川 友紀 ［助産師］ （50歳） 所属: 公立八女総合病院	-推薦委員会推薦-
日本看護協会及び本会の活動歴:【福岡県看護協会】役員・委員歴5年: 助産師職能委員会副委員長、助産師職能委員、選挙管理委員、推薦委員	
抱負: 助産師は、母子のケアのみならず女性の生涯を通して家族や地域社会を支援する役割をもっています。晩婚化・晩産化、家族形態の多様化など女性を取り巻く環境の変化の中で、女性とその家族への切れ目のない継続した支援が求められています。タスク・シフト/シェアにおいても専門性を発揮し、助産師の質の向上を目指し活動いたします。	

地区理事: 須佐 三津代 ［保健師］ （64歳） 所属: 個人会員(7地区支部)	-推薦委員会推薦-
日本看護協会及び本会の活動歴:【福岡県看護協会】役員・委員歴4年: 地区理事、教育委員	
抱負: 地区理事を二年間務め、また在宅支援・訪問看護委員会を担当し、委員会の皆様とは看護職が働き続けられる環境づくりについて取り組んできました。看護職は社会からのニーズも高く、重要な役割を担っています。これからも地域の視点を持ち地区支部との連携を図り、人材確保と定着、地域包括ケアシステムの推進に向けて活動していきたいと思います。そして看護職が専門性を活かし、より充実して活動できるよう尽力してまいります。	

地区理事: 新地 裕子 ［助産師］ （64歳） 所属: 個人会員(5地区支部)	-推薦委員会推薦-
日本看護協会及び本会の活動歴:【福岡県看護協会】役員・委員歴10年: 地区理事、規約検討委委員、教育委員、推薦委員、福岡県支部業務委員	
抱負: 地区理事及び新人看護職員研修運営委員会の担当として、4年間活動してきました。その活動を通して、人材育成の大切さを痛感しております。助産師として、少子高齢社会課題に関しては、母子とその家族への地域包括ケアやプレコンセプションケアの重要性を再認識しています。今後、福岡県看護協会の活動目標を理解し、会員の皆様と連携協力しながら、地区理事活動に取り組んでいきたいと考えています。	

地区理事: 田村 篤子 ［保健師］ （65歳） 所属: 個人会員(8地区支部)	-推薦委員会推薦-
日本看護協会及び本会の活動歴:【福岡県看護協会】役員・委員歴3年: 地区理事、推薦委員	
抱負: 地区理事として1期2年間務めてまいりました。超高齢化・少子化が進み、社会・経済の状況が変化するなかで、看護職の抱える課題や期待されるものの大きさを痛感しております。社会の動きに目を向けながら、地区支部との連携に努め、与えられた地区理事としての職務に尽力してまいります。	

地区理事: 森山 由香 ［看護師］ （59歳） 所属: 飯塚病院	-推薦委員会推薦-
日本看護協会及び本会の活動歴:【日本看護協会】役員・委員歴1年: 病院の外来・診療所における看護機能の明確化に係る検討委員会委員 【福岡県看護協会】役員・委員歴4年: 地区理事、地区副支部長	
抱負: 皆様のご支援のもと、この2年間、地区理事として地域医療の発展と看護の質向上に努めてまいりました。今後も現場の声を大切にし、住民が安心して医療を受けられる環境づくりや次世代を担う人材育成に力を尽くします。現場と行政をつなぐ架け橋として、課題解決に取り組み、信頼を基盤に活動を進めます。誠実な姿勢で地域の未来を皆様と共に築くため、全力で取り組んでまいります。	

地区理事: 西坂 美佐 ［助産師］ （58歳） 所属: 大牟田市立病院	-推薦委員会推薦-
日本看護協会及び本会の活動歴:【福岡県看護協会】役員・委員歴7年: 地区理事、災害看護委員、助産師職能委員	
抱負: 地区理事として皆様のご支援のもと2年間務めさせていただきました。この間、新興感染症や自然災害への対応、少子高齢化、看護職の確保と定着など多くの課題の取り組みの重要性を実感しました。看護協会と地区支部の方々とさらに連携を取りながら看護の発展を目指し努めて参ります。	

准看護師理事: 山本 春奈 ［准看護師］ (37歳) 所属: 北九州宗像中央病院	−推薦委員会推薦−
日本看護協会及び本会の活動歴:【福岡県看護協会】役員・委員歴2年: 准看護師理事	
抱負: 2年間准看護師理事として、看護協会の運営や職能委員会Ｉの活動に携わさせて頂きました。准看護師制度には、まだまだ様々な問題を抱えていると実感しております。准看護師の方々が少しでも働きやすい環境ができる様に、皆様の問題に耳を傾け、問題解決に取り組んで行きたいと思います。よろしくお願い致します。	

監事: 飯野 英親 ［看護師］ (56歳) 所属: 福岡看護大学	−推薦委員会推薦−
日本看護協会及び本会の活動歴:【福岡県看護協会】役員・委員歴7年: 監事、認定看護管理者教育運営委員、将来構想委員会、第46回日本看護学会学術集会(看護管理)準備委員	
抱負: 福岡県看護協会役員(監事)としての職務を通して、2年間、福岡県看護協会の全活動を俯瞰的に考えながら監事として建設的に支援してきました。今後も引き続き、組織内で議論されるべき課題点を提起しながら、監査過程で事実に基づいた分析と判断を行うことを通して、会員の皆様にとって福岡県看護協会が有益な組織へとさらに発展できるように尽力したいと考えています。	

監事: 久松 泰雄 ［税理士］ (61歳) 所属: 久松泰雄税理士事務所	−推薦委員会推薦−
日本看護協会及び本会の活動歴:【福岡県看護協会】役員・委員歴: なし	
抱負: 看護職の皆様方は、日々多くのプレッシャーやストレスに晒されながらも、看護を必要とされる方のケアに全力を尽くされており、また、福岡県看護協会におかれましては、会員を支えるとともに看護の現場を取り巻く様々な課題の解決に向けて取り組まれるなど、皆様方のご努力とご献身に対して、改めて敬意を表します。そのような当協会の運営の一部に携わらせて頂くことを光栄に感じながら、監事として職責を果たしてまいります。	

(活動歴は１年未満切り捨て)